

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 7 回		
事 務 局	公民館貫井北分館		
開 催 日 時	平成 2 7 年 1 2 月 1 日（火）午前 1 0 時から正午		
開 催 場 所	公民館貫井北分館 学習室D		
出 席 委 員	小川委員、師岡委員、吉田委員、若井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	村山分館長、伊藤副分館長、野津、星		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1 報告事項 ①28 年度高齢者学級 はなみずき学級準備会 ②成人学校 2 0 代・3 0 代向けの講座 ③成人学校 地域研究 貫井の魅力を探る ④若者コーナー ウィンターコンサート ⑤男女共同参画講座 きたまち保育サポーター講座 ⑥成人学校 四季の花づくり ⑦成人学校 子育て支援講座はじめての読み聞かせ講座 ⑧成人学校 みどりのまちづくり 私の散歩道 ⑨市民講座 第四次産業革命を知る 2 審議事項 ①地域の芸術活動支援 3 その他 ①第 2 回貫井北センターまつり実行委員会について		

会議内容	1 報告事項 師岡：報告事項、高齢者学級をお願いします。 野津：1月20日に28年度高齢者学級の準備会を開きます。水曜日の実施を考えており、準備会・予備日ともに水曜日に開催します。 小川：先日の公民館研究大会で説明があった「持続可能な社会づくり」としてのE S D（持続可能な開発のための教育）の考え方を取り入れ、大目標から個々の回を展開する必要があると思います。委員や事務局はこうした理念を頭に入れておく必要があります。 若井：受講者が連続して参加することができるという視点も大切ですね。 野津：高齢者が家を出て、地域の公民館活動に参加するということも狙いのひとつです。 師岡：これまでの講座でも大切にしてきた考え方ですね。 吉田：実施方法を考え、受講生とともに歩んできました。 小川：講座の根底にある考え方を再確認しておきたいと思います。 野津：委員は準備会への参加をお願いします。 師岡：20代・30代向けの講座についてお願いします。 野津：大学生に意見を聞きながら企画をまとめました。就職や仕事に役立つスキルを取り上げます。 村山：大学生のやりたいことがはっきりとしているので、講師が提供することと、大学生が望むことを職員としてすり合えました。大学生をサポートしながら公民館講座に仕上げています。 師岡：ウィンターコンサートの報告をお願いします。 伊藤：12月16日（水）にロビーコンサートを行います。市報と館内のチラシで広報しています。大学など地域の教育機関でやっていることを地域の方に味わっていただけたらと思います。 若井：ボランティアに場所を提供するというのは、市内でも他の事例がありますね。 吉田：地域のコミュニティづくりとしてロビーコンサート
------	---

	にはいろいろな可能性があります。 師岡：次は、きたまち保育サポーター講座です。 伊藤：12月2日から応募受付をします。昨年度から3人講師を変えました。より子育てにより近いところにいる講師にお願いしました。地域や参加者のコミュニケーション的なことを最後にやります。昨年は20人が受けて、17人が保育サポーターとして活動しています。男女共同参画として男性の受講者も歓迎しており、主夫の方にも参加いただけることを期待しています。 師岡：四季の花づくりの報告をお願いします。 星：秋の寄せ植えをつくり、玄関に飾っています。12月はお休みしますが、班の活動として花の手入れを続けます。 吉田：班と当番制にして、受講者の熱意が増しているような気がします。何を植えようかとか、今度はどこに行こうという話が聞かれます。花の講座に関わって市内の庭の花をよく見るようになりました。 師岡：次はみどりのまちづくり 私の散歩道です。 星：小金井市の緑化政策を理解する一環として、市のみどりの拠点である東京学芸大学を観察しました。樹木の観察、風や鳥による多様化、植えられている樹木の歴史を知りました。 野津：学芸の森の維持など、受講者によっては気づきがいりいろいろあったようです。 師岡：第四次産業革命を知るの報告をお願いします。 星：サブタイトルをつけました。「第四次産業革命を知る—これからの情報化社会の姿」です。今月中に4回目の講師と打合せをします。場所は当館です。最初の回の講師にも打合せを打診しています。担当の小川さん、若井さんには、急に日程調整をお願いすることがありますがよろしいでしょうか？ 若井：専門分野をわかり易く説明してほしいです。技術開発が私たち市民の生活にも役に立っていますから。
--	---

2 審議事項

師岡：審議事項の、地域の芸術活動支援をお願いします。

星：先月から引き続き、地域の芸術活動支援としてデジタルカメラの講座について、意見をお伺いします。

若井：デジカメは、撮る、パソコンに取込む、加工するなど、写真に関しては多くのニーズがあります。

師岡：方法はいろいろありますが、どういうことをやりますか？

野津：地域の芸術活動支援という講座ですから「撮る」ことが目標ですね。講師も近辺の方が望ましいです。

吉田：どんな人を対象に、どんなことをするかによって受講者が分かれそうですね。屋内の静物もいいですが、屋外の撮影も良いですね。野外研修では花の撮影会を見かけました。

師岡：カメラに慣れてきたけれど、もう少しレベルを上げたいという人が来てくれると良いですね。

野津：たてもの園は良い写真が撮れそうですね。

村山：建物写真なら貫井北センターを撮影する実習はどうでしょう。ホームページの写真を入れ替えます。

若井：建物写真は難しいから、構図の勉強になります。

野津：静物撮影なら備品が撮影できます。

村山：休館日を1回利用してはどうですか？

星：この話し合いをもちまして、3月15日（火）とあと2日の全3回の講座としたいと思います。企画実行委員を決めます。

若井：やります。

3 その他

村山：12月6日（日）は第2回貫井北センターまつり実行委員会です。

師岡：次回第18回企画実行委員会議は、平成28年1月5日（火）午前10時から、司会は吉田さんです。

